



月一だより

中央区立 月島第一小学校
令和2年2月 NO.445

「時の流れを遅くする？」

副校長 中嶋 友晴

「生涯のある時期における時間の心理的長さは、年齢の逆数に比例する。」

これは、19世紀フランスの哲学者、ポール・ジャネーにより提唱された心理学の考えで「ジャネーの法則」と呼ばれています。「人が感じる月日の流れ」や「過去を振り返った際の時の流れの速さ」に対する感覚は若い頃は遅く、歳をとるにつれて短く速く感じるようになるということです。

また、この法則によると、年齢の逆数（ $1 \div \text{年齢} = 1 / \text{年齢}$ ）の長さで時の流れを感じ取り、「時の経つのが速い」と感じるのだそうです。

例えば、10歳の子供にとって、1年間は人生の10分の1として時の流れを感じ、50歳の人にとって1年間は人生の50分の1と感じるそうです。したがって、10歳の子供の1年間は、50歳の人5年間分の長さに相当します。つまり、10歳の子供の1日は、50歳の人5日分の時間を感じて生きているということになります。

感受性の豊かな子供の頃の経験は、すべてが新鮮で、新しい発見の繰り返しです。そして、経験したすべてが心に残るため、感動が長く続き、時の流れを遅く感じさせているのでしょうか。反面、経験を積みながら大人になることで、新しい感動が少なくなり、生活も安定してくると、時が速く過ぎるように感じてしまうのではないのでしょうか。やはり、いくつになっても新しいことへの挑戦は大切なことのようにです。

令和元年を改めて振り返ると、月島第一小学校の子供たちの成長ぶりがうかがえます。時の流れに逆らうことはできませんが、卒業を控える6年生はもちろん在校生すべての子供たちが、残りの2ヶ月で新たな取り組みに挑戦し、学校生活を充実したものにしてほしいと願っております。きっと、新しい発見があり、それが新しい経験になり、時がほんの少しゆっくり進む感覚を味わえるのではないのでしょうか。

2月の生活目標

寒さに負けない子になりましょう

学校・園保健委員会について

養護教諭 高橋 厚子

毎年1学期・3学期に幼稚園と合同で学校・園保健委員会を開催しています。7月は定期健康診断の結果報告と学校耳鼻科医の大築先生に「耳鼻咽喉科のお話」というお題でお話をいただきました。3学期はスポーツテストの結果報告と毎年テーマを変えて外部講師の先生をお招きして講演を行っています。

今年度は、「アンガーマネジメント」～怒りのコントロールを学びより良い親子関係を築くために～をテーマに、実践教育ラボの萩原知子先生のお話があります。自分を知ることや、怒りがどのようなものか知ること、上手に怒りの感情をコントロールして、円滑な親子関係、人間関係を構築できるように学びます。貴重なお話が聴けると思います。今後子供たちの健やかな成長と健康を願って、役立つ会にしていきたいといます。何か、取り上げてほしいテーマがありましたら、是非ご意見をお寄せください。ご家庭でも、お子さまと健康について話題にし、話し合う機会を持っていただければと思います。

6年生を送る会について

特別活動主任 北田 優典

2月26日（水）の3・4校時に、全校で「6年生を送る会」を行います。1年生との交流で優しくお世話をしてくれる姿。委員会・クラブ活動で下級生に声を掛けながら主体的に活動を進める姿。6年生はこの1年間、様々な場面で先頭に立って学校を引っ張ってくれました。

送る会では、各学年が6年生に向けた出し物を発表します。今までお世話になった感謝の気持ちや、学校での思い出をクイズや歌で表現し、伝えます。そして5年生は、6年生から引き継いだ金管バンドを初めて披露します。

送る会の最後には、6年生からお礼の言葉や演奏も予定され、送る会の後は最後の交流給食もあります。全校が一つになって、卒業へのお祝いやエールの想いが溢れ、心温まる時間が過ごせるよう、準備していきます。